

令和5年度 第5回
日野市教育委員会定例会議事録要旨

令和5年（2023年）8月23日

日野市教育委員会

令和5年度第5回日野市教育委員会定例会

開催日時 令和5年(2023年)8月23日(水)
14時00分～16時37分

開催場所 505会議室

出席委員 教育長 堀川 拓郎 教育長職務代理者 高木 健夫
委員 真野 広 委員 正留 久巳
委員 岩下 優美子

議事録署名委員 委員 岩下 優美子

事務局出席者 教育部長 村田 幹生 教育部参事 長崎 将幸
(兼教育指導課長)
庶務課長 釜堀 亜矢子
教育指導課主幹 坪田 充博 統括指導主事 馬場 章夫

傍聴者 25名

書記 庶務課課長補佐 脇坂 立志
庶務課主事 金澤 仁

議事内容 別紙のとおり

この議事録は事実と相違ないことを認め、ここに署名します。

議事録署名

教 育 長

堀川 拓郎

議事録署名

委 員

岩下 優美子

議事内容

議案

- 第12号 日野市立小学校教科用図書採択について
- 第13号 日野市立中学校教科用図書採択について
- 第14号 日野市立小・中学校特別支援学級教科用図書採択について
- 第15号 教育委員会職員人事の専決処分について
- 第16号 教職員の内申の専決処分について
- 第17号 教育管理職の異動（内申）の専決処分について

協議事項

- 第3号 日野市立小学校教科用図書選定について

請願審査

- 第5-5号 現行の教育出版・6年社会教科書のQRコードから、兵器ショーのような「防衛省・自衛隊KIDS・SITE」にリンクする問題に慎重な対応を求める等の請願～軍事オタクの児童にインドクトリネーションしないために

報告事項

- 第12号 行政情報の公開請求

(議事の要旨)

開始 14時00分

[堀川教育長]

ただいまから、令和5年度第5回教育委員会定例会を開会いたします。

本日は、傍聴を許可したいと思います。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしと認め、傍聴を許可します。

(傍聴人入室)

[堀川教育長]

本日の議事録署名は、岩下委員にお願いいたします。

本日の案件は、議案6件、協議事項1件、請願1件、報告事項1件です。

会議の進め方ですが、まず請願第5-5号を審査し、次に協議事項第3号を協議し、次に議案第12号から順次審議を進めていきたいと思っております。また、議案第16号及び議案第17号は公開しない会議とし、最後に審議をしたいと思っております。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしと認め、まず請願第5-5号を審査し、次に協議事項第3号を協議し、次に議案第12号から順次審議を進めていきたいと思っております。また、会議規則第10条により、議案第16号及び議案第17号は公開しない会議とし、審議を許します。

それでは、議事に入ります。

請願第5-5号 現行の教育出版・6年社会教科書のQRコードから、兵器ショーのような「防衛省・自衛隊KIDS・SITE」にリンクする問題に慎重な対応を求める等の請願～軍事オタクの児童にインドクトリネーションしないためについて、事務局より説明をお願いします。庶務課長。

○請願第5-5号 現行の教育出版・6年社会教科書のQRコードから、兵器ショーのような「防衛省・自衛隊KIDS・SITE」にリンクする問題に慎重な対応を求める等の請願～軍事オタクの児童にインドクトリネーションしないために

[釜堀庶務課長]

庶務課長でございます。

議案書55ページを御覧ください。請願番号、請願第5-5号、受付年月日、令和5年7月13日、件名、現行の教育出版・6年社会教科書のQRコードから、兵器ショーのような「防衛省・自衛隊KIDS・SITE」にリンクする問題に慎重な対応を求める等の請願～軍事オタクの児童にインドクトリネーションしないためにでございます。

請願者の住所、氏名は、記載のとおりでございます。

次ページ、56ページから57ページまでが請願の要旨でございます。

説明は以上でございます。

[堀川教育長]

請願者より申出がありましたので、請願の事情を述べていただきますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

それでは、事務局は請願者を席に案内してください。

それでは、請願者は5分程度で請願の事情を述べてください。

[請願者]

はい。それでは、1番のところに書いたように、文科省の教科書検定——これ、私、教科書検定自体は賛成ではありません。家永裁判もごさいますね。しかし、事情がちよつと違ってきている今、御時世ですので、特定の政治団体が公民の教科書、中学校、今回関係ないですけど、そういうのを作るような御時世になったんで、やっぱり何らかのチェック、特に市民によるチェックが必要だなと思っておりますが。

その中で、QRコードなどはどういうふうに今教科書に載っているやつを検定やっているかという、やっていないんですね、ほとんどね。1-1に書いたとおり、「動画は最初のページだけ出す」とか、そういう感じになっておりますので、検定はやっていないという状況になります。

1-2に書いたように、「密接な関係のあるもの」というだけなんですよ、条件はね。ということで、小学校の社会科の教科書、6年生で自衛隊入っちゃった。それから、4年生についても、合田哲雄氏という文科省の非常にタカ派的な官僚などがこの前の改訂から自衛隊を4年生からやるように、教え込むようにしてしまったと。『解説』には、「軍事面を教える」と書いていて、全く発達段階に即していない教え方をしているわけですね。そういった、自衛隊についてホームページでたどり着いてしまうわけですね。

その1枚目のスライドのところに書いてあるとおり、非常に、「撃ち落とす」とか、抑止力と称する軍事力を正当化する中身になっています。

めくってもらいまして、3枚目のスライドというところに書いてある、南西諸島のいわゆる軍拡ですね。これについても、政府の言い分、自民党の言い分ばかりを宣伝しているということになります。

それから、3枚目のスライドの2つ目のところですね。「新たな装備品」。装備品という言葉、山に行くわけじゃないんですよ。武器なんです。兵器。人殺しの兵器です。それを防衛省は装備品とごまかしているわけですよ。安倍さんが大好きなスタンド・オフ・ミサイル、北朝鮮に先制攻撃、いわゆる敵地攻撃をやるミサイルなんかも、何でこんなことを小学生に教えるのかなってね、長崎さん、そういう内容までこのQRコードは行っちゃうわけです。

そこで、請願事項として、今回の教科書、実は教育出版、今も使っている、2020年から使っている教科書から既にこのQRコードはあったんですね。私ども、見落としておりましたけど。そのQRコードを、防衛省、自衛隊につながるものは参照しないように、ぜひ校長を含む教職員に呼びかけてほしいというのが1点目です。

それから、2点目の請願です。教育出版以外についてもやってくれということです。

それから3点目は、今、子供たちのスマホはフィルタリングがかかっております。ですから、例えば水島朝徳早稲田大教授のような非常に子供たちと共に考えてくださる先生や中野晃一さん、あるいは政党でいうと、小西洋之さんの立憲民主や社民党や新社会党、あるいはれいわといったような、そういう政党のものは見られないんですよ。防衛省は見られて、平和勢力は見られない、やっぱりおかしいと思います。ですから、こういったのは教師がやっぱり補足すべきだ。生徒がこういうのを見ていたら、「別の見方もあるよ」と。このすぐ近隣の市では、そういう指導をしてくれると、この前言ってくれたんですよ。もし防衛省のホームページが非常に偏っていたら、別の見方もあるということを経験から補足すると。ぜひこういうことを、長崎さん、やってくださいよ。

それから、4点目のところですね。じゃあ、教育出版というのは非常に悪い会社かという、必ずしも記述についてはそうじゃなくて、安倍さん、それから69歳の下村博文さん、79歳の細田衆議院議長がすごい、自衛隊の違憲論は一切書くなとロシアのようなことを言っている中において、教育出版だけは自衛隊違憲論を、1行ちょっとですけどね、書いてくれているんです。ですから、私は教育出版、全部悪いと言っているわけじゃないんです。QRコードについては十分に注意して、子供たちが暴力を肯定するような、自衛隊のほうに引き込まれないように、本当にいじめとかにつながりますからね。

また次回言いますけども、北朝鮮とか中国を「敵」、「敵」、「敵」と11回も言っているんですよ、防衛省のホームページは。この自衛隊 KIDS・SITE というやつですね。本当に怖いんですよ。中国や朝鮮の子をいじめるような児童生徒が出てくるんじゃないでしょうか。

ぜひそういう意味でも、この防衛省のホームページにつながるところについては、本当に、もし仮に見た場合はほかの見方、先ほど言った水島朝徳早稲田大学教授、あるいは猿田佐世さんという方ですね、外交イニシアティブ。この前、日野市でも呼んだようですけど。そのような方のぜひホームページも見るように、ひとつ両論併記で。ロシアじゃないんですよ、ここの国は。ロシアじゃないんですよから、ぜひ長崎さん、きちっと多様な見方ができる子供ね。政府の言っていることが中立じゃないんですよ。政府が言っていることが右のこともあるんです。政府が言っていることが中立じゃない。本当の中立というのは何だ、ぜひ子供たちが見抜く力をつけられるように、本当に長崎さん、馬場さん、しっかり御指導いただきたい。そういう面での御指導。あまり指導強化は困りますけど、そういうふうになります。

大体そんなところで、堀川さん、今日はぜひ、堀川さんの御出身の文科省でもこのような検定をやっているわけですから、ひとつ、ぜひ採択してくださいね。じゃ、御質問、何かお待ちしております。じゃ、失礼します。

[堀川教育長]

それでは、この件につきまして、御質問がございましたらお願いをいたします。

[請願者]

ぜひどうぞ。堀川さんもよかったです。

[堀川教育長]

よろしいでしょうか。

なければ、御意見を伺います。高木委員。

[高木委員]

本請願は、私自身、不採択と考えております。その理由についてですけれども、本請願は、請願事項として、2-1項から2-4項にわたり、請願者グループで共有する考え方は述べられています。請願事項を本文含めてよく読ませていただきました。また、ただいまありました請願者御自身による説明を伺いまして、私自身、請願事項に関する具体的な背景ですとか理由が理解できない。

以上のような点で、本請願は不採択と考えます。

以上です。

[堀川教育長]

ほかに御意見はございませんか。真野委員。

[真野委員]

私も、請願内容、しっかり読ませていただきました。また、今の御説明内容も伺いまして、その上でであります。今回のこの請願につきまして、請願者の考えに基づく一方的な主義主張であって、請願を採択するに当たる正当な理由が私は読み取れませんでした。

したがって、私はこの請願、不採択と判断いたしました。

以上です。

[堀川教育長]

ほかに御意見はございませんか。正留委員。

[正留委員]

御説明ありがとうございました。

本請願を読ませていただきました。資料も読ませていただきました。本請願の背景、1-1から1-3及び請願事項、2-1から2-4について読みましたが、請願者の考えに基づく一方的な主張と論の展開であり、請願を採択すべき理由となるものを捉えることができませんでした。

したがって、不採択と考えます。

以上です。

[堀川教育長]

ほかに御意見はございませんか。岩下委員。

[岩下委員]

請願内容を拝読し、また資料にも目を通させていただきました。ただいま御説明も伺い、ありがとうございました。

本請願は2-1から2-4にわたり記載されておりますが、その背景は請願者及びそのグループの主義主張による一方的な論の展開であり、その主義主張によって立つ請願事項もまた一方的なものと考えます。一方的な主義主張による関連資料の取扱いの請願について取り上げなければならない理由が見つかりませんでした。

よって、不採択と考えます。

以上です。

[堀川教育長]

ほかに御意見はございませんか。

なければ、御質問、御意見はこれにて終結いたします。

委員の皆様のご意見としては、不採択という御意見が多いようですので、現行の教育出版・6年社会教科書のQRコードから、兵器ショーのような「防衛省・自衛隊KIDS:SITE」にリンクする問題に慎重な対応を求める等の請願～軍事オタクの児童にインドクトリネーションしないためについては、これを不採択とすることにしたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、請願5-5号については、不採択とすることに決しました。

図書の移動をいたします。しばらくお待ちください。

(図書の入替え)

[堀川教育長]

それでは、再開いたします。

協議事項第3号 日野市立小学校教科用図書の選定について、事務局より説明をお願いします。

○協議事項第3号 日野市立小学校教科用図書の選定について

[長崎教育部参事]

教育部参事でございます。

協議事項第3号 日野市立小学校教科用図書の選定について御説明させていただきます。議案書53ページをお開きください。

まず、今年度の採択について御説明いたします。今回は、令和6年度から4年間、令和9年度まで使用する小学校教科用図書を採択するものでございます。今回の採択事務を進めるに当たり、令和5年3月28日の教育委員会定例会において、日野市立学校教科用図書採択要綱を定めているところでございます。また、令和5年3月31日付で文部科学省初等中等教育局から各都道府県教育委員会宛てに、令和6年度使用教科書の採択事務処理についての通知がございました。日野市におきましては、日野市立学校教科用図書採択要綱と、この文部科学省からの通知に沿って調査研究を行いました。調査項目を5つの観点とし、1、学習指導要領との関連、2、編集上の工夫、3、地域との関連、4、構成、単元の配列、問題解決、課題の発見、5、表記表現から全教科書の調査研究を行ってまいりました。また、指導に当たる教員の意見をくみ取りやすいように、特記事項の欄を設けております。

次に、今回の採択事務の経緯について御説明いたします。日野市立学校教科用図書採択要綱に基づき、5月に各小学校で教科用図書の調査研究を行いました。5月末には各小学校から、教科ごとに設置した教科委員会に調査研究報告書が提出されました。教科委員会は、委員長、副委員長、主幹教諭、指導教諭、主任教諭等の8名で構成され、各学校から提出された調査研究報告書を基に調査研究を行いました。教科委員会は、6月1日から6

月30日までの期間に開催されました。続いて、7月10日、11日、13日に教科用図書採択審議会を行いました。この審議会は、校長3名、副校長2名と保護者6名の計11名によって構成されています。審議会では、教科委員長から教科ごとに調査研究した内容の報告があり、教科用図書を実際に読んで確認したり質問したりするなど、活発な審議が行われました。審議会終了後に審議会長から日野市教育委員会に答申書が提出されました。教育委員は、7月24日、28日の2日間、各教科委員長に出席いただき、審議会の答申書に基づいた説明をいただきました。続いて、7月28日、8月1日、2日の計3日間にわたって、教育委員は全ての教科用図書について調査研究を行いました。調査研究に当たっては、審議会答申書及び東京都教育委員会が作成した小学校用教科書調査研究資料と教科書で内容の確認を行いました。これが本日までの採択事務の経過でございます。

なお、各社の教科用図書は、6月2日から6月29日まで、中央図書館、高幡図書館、中央公民館の3か所で閲覧できるようになっておりました。この3か所には、教科用図書や展示についてお気づきの点を御記入いただくアンケート用紙を置きました。期限までに寄せられた御意見、御感想等は22件になります。教育委員は、これらの御意見、御感想、全て読み、確認しております。

本日の協議事項といたしましては、各教科の教科用図書について御協議をいただき、それぞれ1者を採択候補として選定していただきたいと存じます。

以上で説明を終わります。御協議のほど、よろしくお願いいたします。

[堀川教育長]

事務局からの説明が終了しました。

教育委員会は、7月14日に日野市立学校教科用図書採択審議会より、答申を御提出いただきました。その答申書の内容を踏まえ、東京都の教科書調査研究資料も参考にしながら、実際の教科書を基に調査研究を行ってまいりました。それらを通して、本日までにそれぞれの委員が、どの教科用図書を採択の候補とすべきか御判断されたことと思います。選定の方法について、お諮りをいたします。

ただいまからお配りします用紙に、選定の候補としたい発行者を選んでいただき、候補とされた教科用図書について協議を進めていきたいと思いますが、いかがでしょうか。高木委員。

[高木委員]

私から提案がございます。ただいま教育長がおっしゃったように、本日を迎えるまでに私どもとしましては、全ての教科書について、いろいろな角度から調査研究を行ってきたところですが、どの教科書もそれぞれの特徴やよさを持っていて、正直なところ、なかなか甲乙つけ難く、1者だけ選ぶのは難しいと感じるところもあるかと思えます。そこで、選定するに当たりましては、従来どおり、1人の持ち点を2点とし、1者に2点をまとめて入れることも、あるいは2者に1点ずつ分けて入れることもよいといった方法を取って、点数を累計して候補教科書を決めてはどうかと思えますが、皆さん、いかがでしょうか。

[堀川教育長]

選定の方法について、ただいま高木委員から提案がございました。皆さん、いかがでし

ようか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議がないようですので、各委員の持ち点を2点として選定を行ってまいります。事務局は各委員に用紙を配付してください。そして、各委員の記入が終わりましたら、速やかに集計をしてください。

(用紙配付、記入)

[堀川教育長]

それでは、国語から協議を始めようと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

[堀川教育長]

国語の集計結果が出ました。光村図書出版10点となりました。各委員から御意見を承ります。

発言順を、高木委員、真野委員、正留委員、岩下委員、そして堀川の順としたいと思います。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

それでは、その順でお願いをいたします。それでは、高木委員、よろしく申し上げます。

[高木委員]

私は光村図書出版がいいと思いました。理由ですけれども、一つには、教科書の冒頭に「国語の学びを見わたそう」という項目があり、学習の進め方や、その学年で学ぶ内容について、話す、聞く、書く、読むの領域ごとに、前の学年で学んだことと併せて分かりやすく説明されていること、2つ目として、2年生から6年生まで対話の練習の単元が設定されていて、第3次日野市学校教育基本構想でポイントとなる対話について段階的に学習ができること、これらから光村図書がよいと思っております。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、申し上げます。

[真野委員]

私も光村図書出版がよいと思います。その理由を2点ほど挙げさせていただきます。

1点目は、各単元は見通しを持つために問いや目標を持つことから始めて、話す、聞く、書く、読むなどの活動を通じて学び、最後に振り返り、そして次の学習や日々の生活に生かすという構成になっており、個別最適な学びと協働的な学びを深めていくことができると考えました。特に、問いを持とうという発問内容は、自分ごととして捉えるところから出発して、学びを広げ深める、そういう内容になっている点も評価をしました。

2点目ですが、各単元の最後には、この本を読もうのコーナーがあり、推薦図書を多数紹介しており、読書のきっかけにもなるのではないかとこの視点を評価しました。

私からは以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私も光村図書出版がよいと思いました。学習方法を丁寧に示し、学ぶ姿勢づくりを大切にしています。2年生以上の全ての巻頭にある「国語の学びを見わたそう」では、問いを持つ、見通しを持つことを大切に活動することを繰り返し示してあり、振り返りでさらに学びを深める学習の進め方を示し、前の学年での学びの振り返りもあり、学びの定着につながると思います。自分の問いを持つことを学びの大切な要素として作ってある教科書であると思います。読むの学習活動では、目当てと粗筋のリード文を1ページにしてあり、それから本文に進む構成などは、主体的な学びにつながると思います。教材も発達段階に即して精選がなされていると思います。さらに、「たいせつ」、「いかそう」の項目では、様々な学習活動に生かせるポイントが示してあり、いいと思いました。また、5年生で点字や手話、指文字の学びがあり、日野市の目指す共生社会を実現する点でいいと思いました。学び方の育成を大切にしたい、バランスのよい教科書だと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

私も光村図書がいいと思いました。2年生から巻頭の導入ページで既習事項の振り返りや当学年での学習を結びつけており、理解しやすく、読むページと取り組むページで行間、字体を変えている点も分かりやすい。話す、聞く、書く、読むの各活動には何を学ぶかが示されており、特に読む活動では、物語の初めの見開きページの前にリード文のページがあり、ワクワク感を持って物語のページを開くことができる点、また、巻末で図を使って整理、分類し、分かりやすく伝える学びや、2・3年生では、他教科関連題材を扱い、教科横断的な学びに、また、6年では課題解決に向けて考えるページでプログラミング的思考など、幅広く学べる点を評価しました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、私、堀川からも意見を申し上げます。

私は光村図書出版に2点を入れさせていただきました。国語の教科書を見るに当たっては、言葉を遣った他者や社会との関わり合いという営みに向かって言語感覚を養うことや言葉を大切に作る姿勢につながるか、また、日野市第3次学校教育基本構想で我々が大切にしている対話の考え方をどう捉えているか、そういった観点を大切にしてお見させていただきました。光村図書出版の教科書では、まず学び方について、学習や生活の中で生まれる問いを大切にしながら、学習から振り返りの流れの中で、毎時の学びを学習や生活、他者や社会との関わり合いに生かすことを意識した編集がされていること、良質な教材にじっくりと向き合うとともに、見方・考え方を働かせる言語活動、対話の活動をしっかりと位置づけ、他者との関わり合いの中で言語感覚を養う工夫がされていること、前学年までで学んだことといった縦の見通しや教科等横断的な学びの視点、クラブ活動や委員会活動、特別活動といった学校生活全般と国語の学習との関わりを意識しながら学ぶことができる

よう工夫されていること、そのような観点を評価させていただきました。

ほかに発言漏れ、追加はございませんか。なければ、御意見はこれにて終結をいたします。

国語は、集計の結果、点数が10点と最も高かった光村図書出版を採択候補として選定したいと思います。いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、国語については光村図書出版を採択候補といたします。

それでは、次は書写でございます。書写については、光村図書出版9点、東京書籍1点となりました。各委員から御意見を承ります。それでは、高木委員、お願いします。

[高木委員]

私は光村図書出版がいいと思いました。まず一つには、学習の進め方や書くときの姿勢等のポイントが各学年で示されているので分かりやすいこと、2つ目として、6年生、書写ブックで、1年生から6年生で学んだ手紙やはがきの表書きの書き方、新聞やポスターの作り方の工夫など、日常生活で生かすための整理がされ、使いやすいと感じること、これらから光村図書出版がよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、お願いします。

[真野委員]

私は、光村図書出版がよいと思い、2点入れさせていただきました。その理由を3点ほど挙げさせていただきます。

1点目は、各単元が見開きで完結しており、考えよう、確かめよう、生かそうの3つのステップで進める構成となっており、見通しを持って取り組むことができる点です。

2点目は、動画コンテンツが充実しており、個別最適な学びを深めていくことができる点です。

3点目は、3年生以上の教科書では背表紙にSDGsと書写の関連を示した表記があり、SDGsを常に意識しながら学びを進めることができる、以上の観点で評価をさせていただきました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私は光村図書出版がいいと思いました。2点入れました。

1年生は、学習活動の約束事など丁寧な確認に始まり、書写スタートブックでは、姿勢、鉛筆の持ち方など、写真やイラストが分かりやすいと思います。いろいろな線を書こうでは、イラストが効果的に使われており、各ページに「できたかな」のコーナーがあり、これも効果的だと思います。

また、3年生から始まる毛筆についても、毛筆スタートブックを設定し、毛筆の仕組み

や用具の使い方など、イラストと写真が分かりやすく提示され、筆遣いの写真では穂先の向きが分かるように表示しており、児童のやってみようにつながると思います。

また、見開きのページは見やすく構成され、児童に分かりやすいと思います。狙いを示し、学習の進め方として、考えよう、確かめよう、生かそうなどの項目の流れで、思考の段階を経て学びの定着を図る作りがいいと思いました。学習の進め方が、考えることを基点にして、児童の活動意欲につながるような作りがいいと思いました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

光村図書、東京書籍のどちらにもよい点があると思いましたので、1点ずつ入れました。

まず、光村図書ですが、筆順が示され、硬筆に生かす仕組みになっている点、4年生のSDGsブックで、書写の学習を生かして、自分や社会との関係を日常生活に関連づけて考える点を評価しました。

次に、東京書籍です。3年生以上の筆の学習で、筆遣いの朱書きが全ての画数掲載されており、練習問題も豊富である点、書写の鍵で目当てを示し、振り返りでは、考えた、分かった、書けたなどの自己評価ができる点を評価いたしました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、私からも意見を申し上げます。

私は光村図書出版に2点を入れさせていただきました。書写については、文字の書き方、これを基礎としながら、日常生活において、文字そのものや文字で伝えるということと向き合うことにつながるかどうかという観点を重視して見させていただきました。光村図書出版の教科書については、学習の進め方をシンプルに整理をし、考えよう、確かめよう、生かそうの活動の中で、文字そのものや文字で伝えることと向き合う活動が位置づけられていること、また、なぜ書写を学ぶのか、学びの必然性という視点から、インタビューメモ、新聞記事、パンフレット、そしてSDGsブックなど、自分の生活や社会と文字や文字で伝えることとのつながりを意識しながら学ぶことができるよう工夫をされていること、こういった点を評価させていただきました。以上です。

それでは、ほかに発言漏れ、追加はございませんか。なければ、御意見はこれにて終結をいたします。

書写は、集計の結果、点数が9点と最も高かった光村図書出版を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、書写については光村図書出版を採択候補といたします。

それでは、次は社会でございます。社会については、教育出版10点となりました。各委員から御意見を承ります。それでは、高木委員、お願いします。

[高木委員]

私は教育出版がよいと思いました。一つには、社会科は3年生から始まるわけなんですけれども、1・2年生の生活科を振り返りながら、社会科に入っていくための方法が丁寧に書かれているので分かりやすいこと、2つ目に、随所に学びの手引やもっと知りたいがあり、そこでの解説や発問により学習の視点の広がり期待できてよいこと、3つ目として、6年生の歴史分野では、戦中・戦後の白黒写真をカラー化していて、現場感、臨場感が増し、状況の理解がしやすいこと、以上の観点で教育出版がよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、お願いします。

[真野委員]

私は教育出版がよいと思います。その理由につきまして、3点ほど挙げさせていただきます。

1点目は学習の流れなんですけど、つかむ、調べる、まとめる、つなげるを繰り返すように構成されており、見通しを立てやすい。特に、最初のつかむのステップでは、常に問いからスタートしている点で、主体的で対話的、深い学びにつながるのではないかとこの観点です。

2点目は、各学年で何か所かSDGsとの関連を取り上げ、学んだことを生かして、自分たちに何ができるのかを考える、深い学びにつなげていけるという観点です。

3点目は、6年の教科書では冒頭に、パラリンピックから学ぶをテーマに、日野市に御縁のある山崎悠麻選手のインタビュー記事などを取り上げており、身近な視点から教科の勉強に入っていける点を評価しました。

私からは以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私も教育出版がよいと思いました。学び方がよく工夫されていると思います。巻頭に社会科の学習の進め方があり、「つかむ、調べる、まとめる、つなげる」が各ページにあり、キャラクターの学びの視点や進め方のアドバイスが、なぜだろうを大切に学習活動をつくっていく構成になっており、児童の主体的な学びが身につくと考えました。また、「次につなげよう」が途切れることなく次の授業につながる作りになっており、学びを深められる構成となっています。また、振り返りのページが設定されており、自分の学びを見返すことができ、学びの手引も学びを一層深める作りとなっています。図や写真など資料も見やすく、豊富であり、白黒写真をカラーにした画像もあります。資料として、児童に分かりやすく、イメージしやすいものとなっていると思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

教育出版がよいと思いました。聖徳太子の表記が正しかった点、戦中・戦後の写真の力

ラー化、また、まとめるのページで、単元で学んだことで自分が考えたことを言語化する活動を設けており、第3次日野市学校教育基本構想で大切にしている対話的な学びにつながる点を評価いたしました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、私からも意見を申し上げます。

私は教育出版に2点を入れさせていただきました。社会の教科書については、社会的事象の意味や関連を多角的に考えることや、社会課題を把握して主体的に課題を解決することにつながるかという視点を大切に見させていただきました。教育出版の教科書については、学習の進め方として、課題解決型の展開にその特徴があるというふうに考えます。毎時の見通しが明確になっていることに加え、とりわけ、最初に学習問題を作るという流れについては、子供たちが主体的に社会的な事象や課題と向き合うことにつながるというふうに考えました。また、もっと知りたい、自分で調べて考えるというように、子供たちの社会的事象や課題への興味・関心を引き出し、学びのさらなる展開につなげる工夫がなされていることも評価できるというふうに考えました。なお、憲法のところで日野市にゆかりのあるパラ・バドミントンの山崎悠麻さんの姿から入る形になっていることも、日野の子供たちが身近に感じられるというふうに考えます。以上です。

ほかに発言漏れ、追加はございませんか。なければ、御意見はこれにて終結をいたします。

社会は、集計の結果、点数が10点と最も高かった教育出版を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、社会については教育出版を採択候補といたします。

それでは、次は地図でございます。地図については、帝国書院10点となりました。各委員から御意見を承ります。それでは、高木委員、お願いします。

[高木委員]

私は帝国書院がよいと思いました。一つには、随所に地図マスターへの道が設置されていて、3年生から6年生の間で地図活用の技能習得に工夫がされていること、2つ目として、地図や資料数が豊富で分かりやすく、色合いがよく見やすいこと、3つ目として、東京都全体の地図があり、東京都の中での日野市の位置づけが理解しやすい構成になっていること、以上から帝国書院がよいと思いました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、お願いします。

[真野委員]

私は帝国書院がよいと思います。その理由を3点ほど挙げさせていただきます。

1点目は、初めて地図帳を手にする子供たちに親しみを持ってもらえるよう、見やすく分かりやすい等の工夫がされている点です。

2点目は、日野市、また東京都の多摩地方の詳細な地図も掲載されておりますので、活用しやすいという観点です。

3点目は、世界地図の欄には、世界のSDGsとの表記があり、SDGsの目標と照らし合わせながら様々な活動を紹介している点もよい点として挙げたいと思います。

私からは以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私も帝国書院がいいと思いました。地図の学び方として、初めて使う児童に、地図の成り立ちや考え方に始まり、丁寧な導入が図られています。基本的な見方や活用の方法が各学年に応じて示されていて分かりやすいと思いました。一緒に学習しようのキャラクターの学習のポイントも適切で、学びを進めやすい作りとなっています。縮尺が違う地図の掲載で理解がしやすくなっており、各学年に応じての活用もできます。他教科でも活用できる地図もあり、資料も豊富であり、使いやすいと思いました。また、トライの問題や地図マスターは、個々の児童が一層理解を深める学習活動につながると思います。表紙も丈夫で、地図の色合いや表記の仕方が見やすいと思いました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

帝国書院がいいと思いました。選んだ理由ですが、3点ほど述べます。1点目、地図活用の導入ページがあり、地図への興味を膨らませることができる点、2点目は、日本の気候のページで日本列島の横断図を用いており、具体的に、より正確に理解できる点、3点目は、廃藩置県前の地図や江戸の拡大図が掲載され、歴史を学ぶ上で大変に有効である点を評価しました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、私からも意見を申し上げます。

地図については、帝国書院に2点を入れさせていただきました。理由ですが、まず、レイアウトや表記の見やすさ、分かりやすさに加え、地図マスターへの道など、地図に親しむことのできる工夫がされていること、次に、東京都の地図の詳細が掲載されており、日野市の位置づけがより詳しく書かれているため、学習に使いやすいこと、また、巻末の統計資料が分かりやすく、質量ともに使いやすいと考えられること、こういった点を評価させていただきました。

ほかに発言漏れ、追加はございませんか。なければ、御意見はこれにて終結をいたします。

地図は、集計の結果、点数が10点と最も高かった帝国書院を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、地図については帝国書院を採択候補といたします。

それでは、次は算数でございます。算数については、東京書籍10点となりました。各委員から御意見を承ります。それでは、高木委員、お願いします。

[高木委員]

私は東京書籍がよいと思いました。理由ですけれども、1つ目は、毎日の学習で使うページでは、今日の問題、学習の目当て、考えるときの手がかり、学習のまとめなどが分かりやすく記述され、また、イラスト、図表が全体的に見やすい構成になっていること、2つ目として、算数マイノートの作り方が児童の発達段階に応じて指導がされていて分かりやすいこと、3つ目として、練習問題をQRコンテンツ化し、答え合わせができるなど、QRコンテンツの充実が図られていること、以上から東京書籍がよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、お願いします。

[真野委員]

私は東京書籍がよいと思います。その理由を3点ほど挙げさせていただきます。

1点目ですが、問題解決のステップが、問題をつかもう、自分の考えを書き表そう、友達と学ぼう、振り返ってまとめようのステップであり、主体的で対話的、深い学びにつながるのではないかという観点です。

2点目は、4年生以上の教科書ですが、冒頭にコラム欄があり、伊藤美誠さん、大谷翔平さん、野口聡一さんの実体験を通し、なぜ算数が必要なのかを知ることができ、算数への取組意欲を高めてくれる、そういう内容になっている点です。

3点目は、デジタルコンテンツがある箇所にはDマークが表記をされており、必要なときに必要なポイントでデジタルコンテンツを確認することができ、個別最適な学びを進めることができる、以上の観点で評価をさせていただきました。

私からは以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私も東京書籍がよいと思いました。学習活動の進め方が丁寧でいいと思いました。様々な考えを大切に、支え、身についた学習を基に、考えを発展させたり深めたりする作りがいいと思いました。学びの流れは、今日の問題、学習の目当てがあり、考えるときの手がかり、大切な見方・考え方などの項目で示しがあり、学習のまとめ、そして練習問題となっていますが、適切、効果的にアドバイスがあり、キャラクターの吹き出しなどでの思考の導きなどが児童にとって分かりやすく、意欲を持ち学習を進めやすい構成となっていると思います。また、「同じように考えると」の問いかけや、「それなら次は」の問いかけが、学習の定着や発展的な、主体的な学びの育成につながると思います。また、思考を丁寧に色分けや図に表現し、考えを次に進められる工夫が分かりやすいと思いました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

私も東京書籍がいいと思いました。1年のスタートは、分冊のワーク式で、書き込みやすい用紙で使いやすい点、授業の進め方として、単元の初めにボリュームを持たせ、後半では自ら取り組めるよう工夫されている点、さらに深めたい場合、二次元コードから自動採点の演習に取り組むことができ、理解度に合わせた多様な個別の学びができる点を評価しました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、私からも意見を申し上げます。

私は東京書籍に2点を入れさせていただきました。算数の教科書については、なぜ算数を学ぶのかという意味において、見方・考え方を生かして世界を見る、その中で算数の面白さに気づき、社会とのつながりを実感しながら生活や学習に生かすと、そういうことにつながるかという観点で見させていただきました。東京書籍の教科書については、学習の展開について、学びのサイクルを分かりやすく明確に構成し、見方・考え方を生かしながら学びを自己調整する力を身につけられるよう工夫をされていること、教科等横断的な視点を大切にし、道具として数学的な見方・考え方を活用しながら様々な課題の解決につなげる工夫がされていること、デジタルの活用について、その強みや特徴を生かしながら、社会との窓としての社会とのつながりを実感しながら生活や学習に生かしたり、算数の面白さに気づくことにつながるよう工夫がされていること、こういったところを評価させていただきました。

ほかに発言漏れ、追加はございませんか。なければ、御意見はこれにて終結をいたします。

算数は、集計の結果、点数が10点と最も高かった東京書籍を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、算数については東京書籍を採択候補といたします。

それでは、次は理科でございます。理科については、大日本図書10点となりました。各委員から御意見を承ります。それでは、高木委員、お願いします。

[高木委員]

私は大日本図書がいいと思いました。一つには、各学年の2・3ページに目次と併せて理科の学び方の説明があり、各学年での大切なポイントも明記されており、児童が段階を追って理科の学び方を身につけていくことができること、また、話し合いながら学習を進めていく仕組みが組み込まれていてよいこと、2つ目として、各学年で理科のノートの書き方が掲載され、また、児童の書いたノートの例示が随所に数多くあり、子供たち自身が学習を進めやすいこと、3つ目として、QRコンテンツが豊富に準備され、多くの事象や実験器具の使い方などを見ることができ、工夫がされていること、以上から大日本図書が

よいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、お願いします。

[真野委員]

私は大日本図書がよいと思います。その理由を3点ほど挙げさせていただきます。

1点目は、学びのステップが、問題、予想、計画、実験と丁寧に書かれており、その後、ページをめくると、結果、考察、結論が書かれており、最初から結論が見えないよう配慮している点で、子供たちの学びや対話が深まるのではないかという観点です。

2点目は、単元によってですが、その結論からさらに次の問いを見つけて学びのステップを繰り返しており、主体的で対話的、深い学びを深めることができる観点です。

3点目は、6年生の11章、かけがえのない地球環境の章では、考察を深めるため、SDGsの目標と照らし合わせながら様々な活動を紹介している点、以上の観点を評価させていただきました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私も大日本図書がいいと思いました。児童にとって、学習の流れが把握しやすく、学びのポイントがつかみやすい作りとなっていると思います。学びの流れは、問題の示しがあり、次に、予想しようがあり、計画を立てよう、観察に続き、結果となり、考察として考えよう、分かったことといった構成となっており、キャラクターの吹き出しがポイントやヒントになっていて分かりやすいと思います。自ら考えて学びを進める流れを大切にして、学習活動が導き出されるよう工夫してあるところを評価しました。写真、図、イラストは大変分かりやすく、児童の興味・関心を引き出し、意欲的な活動につながると思います。また、適宜、注意として枠欄を設け、器具の扱い方や使用上の注意点や危険な動植物についての記載があり、安全への配慮も適切でいいと思いました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

私も大日本図書がいいと思いました。二次元コードが豊富に用意されているが、動画を見るだけでは答えは分からず、考えることを要する作りになっている点、学習内容と関連した生活場面の紹介や他教科既習事項との関連も示し、理科的な考え方・見方で総合的に考えを結びつける学びになっている点を評価いたしました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、私からも意見を申し上げます。

理科については、大日本図書に2点を入れさせていただきました。理解の教科書について

ては、自然の事物や現象に進んで関わり、科学的に探求する力を養うということにつながるかという観点で見させていただきました。大日本図書の教科書については、見つけよう、調べよう、伝えようという学びのサイクルの中で、子供たち自身が小さな科学者としてその考え方を身につけることを大切にしていること、とりわけ調べようの中では、予想、計画、調査、記録という探求の流れの中で学習が位置づけられていること、また、振り返り活動、問題を見つける、対話の活動、玉手箱で世界をさらに広げる工夫など、自己や他者との対話の中で学びを深め、広げていく工夫が見られることといったところを評価させていただきました。以上です。

ほかに発言漏れ、追加はございませんか。なければ、御意見はこれにて終結をいたします。

理科は、集計の結果、点数が10点と最も高かった大日本図書を採択候補として選定したいと思います。いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、理科については大日本図書を採択候補といたします。

それでは、次は生活でございます。生活については、東京書籍7点、教育出版2点、光村図書出版1点となりました。各委員から御意見を承ります。それでは、高木委員、お願いします。

[高木委員]

私は東京書籍に2点を入れました。理由ですけれども、一つには、いろいろな活動例や友達との交流活動の様子が多くの写真やイラストで示されていて、多くの人と関わり合っ
て学習する様子が具体的にイメージできること、2つ目として、児童の作成した観察記録や計画書などが多く掲載されていて、学習を進める上で分かりやすいこと、3つ目として、スタートカリキュラムとの関係については、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の主な姿の例示があり分かりやすいこと、以上から東京書籍がよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、お願いします。

[真野委員]

私は東京書籍と教育出版の両者、それぞれによい点があり、優劣つけ難く、1点ずつ入れさせていただきました。

初めに、東京書籍ですが、スタートカリキュラムの内容が充実しており、保護者と学校が手を携え児童の学びを支えていく、そういう内容になっている点を評価いたしました。

一方、教育出版につきましては、子供たちの興味をそそるようなデザイン、あるいは、問いかけからスタートしており、その問いかけの内容が子供たちにわくわく感を与えてくれる、そういう内容になっているという観点で評価させていただきました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私は東京書籍がよいと思いました。2点入れました。スタートカリキュラムを非常に丁寧に扱っており、入学直後の在り方を学校全体の活動を見据えたものとして提示されています。保護者にとってもいいと思いました。学び方の示し方として、学習の流れが分かりやすく構成されています。目当てを主体的に取り組めるように掲げ、吹き出しにコメントを載せ、活動での気づきを示して、学びを進められるようにしてあり、分かりやすいと思いました。体験での学びでつかんでほしいことや気づいてほしいことが丁寧に示されています。また、友達や地域のことを大切にしたり、生活全体の視野を広げたり、教材の配列とバランスがよいと思います。児童に分かりやすい教科書であると同時に、指導のポイントがつかみやすくなっていると思います。写真アングルとイラストの構成がよく、学習のイメージがつかみやすく、キャラクターのアドバイスやヒントが適切で分かりやすいところもよいと思いました。安全指導も約束のコーナーで示してあり、いいと思いました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

光村図書と東京書籍、それぞれによいと思うところがあり、1点ずつ入れました。

まず、光村図書について、前回採択時から大きく構成、編集が変わっており、スタートカリキュラムとの関連では、幼児期までに育みたい10の姿を、保護者向けには文章で、児童向けには説明をつけないイラストで表現し、児童自らの言語化を促している点、ヨシタケシンスケさんのイラストや言葉は、多様な考え方を示す場面もあり、様々な考え方・見方があり、それぞれが大事であることを示唆している点、単元ごとの振り返りでは、比べた、分かった、もっとやりたいなどの自己評価をする点を評価しました。

次に、東京書籍についてですが、スタートカリキュラムが明確に示されており、小学校生活のスタートで就学前の振り返りをし、自信を持って学校生活をスタートできる点、植物を植える単元では、種から花までのページの横幅を変化させ、一覧で見ることができる点、ソフトな色使いのイラストで、校庭、公園での定点観測ができ、吹き出しのコメントが気づきになっている点、自ら気づき、対話し、やってみるということに重点を置いている点を評価いたしました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、私からも意見を申し上げます。

私は、東京書籍に1点、教育出版に1点を入れさせていただきました。生活科の教科書については、義務教育のスタートに当たって、様々な活動や体験を通じ、何で、どうしてという疑問や気づき、ひいては人や社会や自然に自ら働きかける意欲や自信につながっていくかという観点で見させていただきました。

東京書籍の教科書については、スタートカリキュラムに関連する部分について巻頭で特別な取扱いをしており、教員にとっての使いやすさにつながっているということ、とりわけ義務教育のスタートに当たって、スタートカリキュラムとは何かや10の姿の説明を含

め、保護者の理解を得る工夫がなされていることに特徴があるかというふうに思います。これは、みんなでよりよい学校をつくっていくという日野市の学校教育基本構想の考え方にも沿うものだというふうに感じました。また、シンプルな問いとセットで、何で、どうしてという疑問や、人や社会や自然との関わり合いをする活動、そして体験の楽しさが必要でも言語化されていない非言語表現の中で教科書から伝わってくる、そのような工夫がされていることも高く評価をさせていただきました。

また、教育出版の教科書については、「わくわくスイッチ」、「はっけんロード」、「ぐんぐんはしご」ということで、各学習がその後の学びにつながっていく学びの位置づけ方の工夫や、「学びのポケット」と一緒に学んでいくことで教科等横断的に学習した内容を活動に生かしていくという工夫、そして、紙面における多様性や包摂性への配慮について評価をさせていただきました。以上です。

ほかに発言漏れ、追加はございませんか。なければ、御意見はこれにて終結をいたします。

生活は、集計の結果、点数が7点と最も高かった東京書籍を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、生活については東京書籍を採択候補といたします。

ここで議事の都合上、休憩を取ります。再開は15時15分からとさせていただきます。

休憩15時09分

開始15時15分

[堀川教育長]

それでは再開をいたします。

音楽については、教育芸術社10点となりました。各委員から御意見を承ります。それでは、高木委員、お願いします。

[高木委員]

私は教育芸術社がよいと思いました。一つには、ページの構成が、学習マップ、目次の順番になっていて、1年間でどのような学習をするのかが先に示されているので、音楽専科でない先生も教科の特性や目的を理解した上で指導に取り組めること、2つ目として、QRコンテンツが豊富で、児童がつくった音楽を学習者用端末で再生することができるなど工夫がされていること、3つ目として、心の歌では、歌詞の情景に関連する写真やイラストが多く使用されていて、児童が親しみを持ちながら学習できる工夫があること、以上から教育芸術社がよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、お願いします。

[真野委員]

私は教育芸術社がよいと思います。その理由を3点ほど挙げさせていただきます。

1点目は、教材ごとに、見つける、考える、歌うなどの表記が丁寧に書かれており、そ

の楽曲で必要な知識・技能を自ら学んでいくことができる観点です。

2点目は、QRコンテンツが充実しており、自分で音を出し、音を重ねたりすることができるため、個別最適な学びを深めていくことができる。

3点目は、学習のまとめりごとに、振り返りや次の学習につなげていける、そういう内容が書かれている点もよい点であると評価をいたしました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私も教育芸術社がいいと思いました。巻頭にある学習マップが児童にとって、これから始まる学習活動を把握しやすく、見通しを持ちやすいと思いました。「考える」、「見つける」、「歌う、演奏する、つくる」など、学習活動が教材ごとに具体的に示してあり、学びのポイントを捉えやすい構成となっています。ナビゲーターの吹き出しにはそれぞれの学びへの適切なヒントがあり、児童が自分の発想を持ち、新たな活動につながるようになっており、いいと思いました。学習のまとめでは、振り返りをするような構成であり、次につなげて、児童の主体的な取組を支えるようになっているところがいいと思いました。写真やイラストが児童にとって分かりやすく、活用できると思いました。また、共通事項の示しは、指導する際の押さえを把握しやすいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

私も教育芸術社がよいと思いました。ページの左に目当てが示され、題材ごとに色分けされており、単元での活動を理解し、取り組むことができる点、二次元コードが豊富で、専科担任でなくとも指導に困難はないと思われる点、単元の振り返りでは、感じたこと、気づいたことなど情動的な部分を引き出し、多様な感性を醸成できる点を評価しました。また、6年生の曲をつくる単元での二次元コード教材は、自分で選んだ音を再生できるコンテンツで、特に優れていると考えました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、私からも意見を申し上げます。

教育芸術社に2点を入れさせていただきました。音楽の教科書については、音楽活動の楽しさを授業の中でどれだけ体験、経験できるか、そのことにつながる教科書になっているかという観点で見させていただきました。教育芸術社の教科書については、その構成について、見つける、考える、演奏するのスリーステップで学習の流れがつかみやすくなっており、これは専科ではない先生であっても音楽の楽しさを子供たちにつかませやすい構成であるというふうに考えます。また、学習マップが、活動ベース、動詞ベースのマップとなっており、子供たちを主語として、その主体性を引き出しやすい表現の工夫となっていること、また、音楽活動の楽しさを体験する手段として、デジタルを生かすことができ

る工夫がなされていること、こういったところを評価させていただきました。以上です。

ほかに発言漏れ、追加はございませんか。なければ、御意見はこれにて終結をいたします。

音楽は、集計の結果、点数が10点と最も高かった教育芸術社を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、音楽については教育芸術社を採択候補といたします。

それでは、次は図画工作でございます。図画工作については、日本文教出版9点、開隆堂出版1点となりました。各委員から御意見を承ります。それでは、高木委員、お願いします。

[高木委員]

私は日本文教出版がよいと思います。理由についてですが、一つには、各単元での学習の目当てが分かりやすく、児童の作品や活動中の写真が豊富であり、吹き出しなどから学習の楽しさが伝わってくること、2つ目として、ページの下段に、気をつけよう、片づけようなどの細かな記述があり、安全面への配慮がされていること、3つ目として、QRコンテンツが360度回転や拡大・縮小等の機能があり、工夫がされていること、以上から日本文教出版がよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

真野委員、お願いします。

[真野委員]

私は日本文教出版がよいと思い、2点入れさせていただきました。その理由を2点ほど挙げさせていただきます。

1点目は、各単元ごとに、目当てや、あるいは目当てのヒント、鑑賞のヒント、振り返りなどをちりばめて載せているため、自ら学びを深めていくことができるという観点です。

2点目は、子供たちの作品が多く掲載されており、子供たちの発想を膨らませるためのヒントが豊富にある点を評価させていただきました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私は日本文教出版がいいと思いました。2点入れました。日本文教出版、開隆堂ともに、よく工夫された題材と学習活動の流れが実践的に構成されています。各学年、発達段階に応じた題材配列とA表現、B鑑賞の適切な活動とつながりの構成となっていると思います。紙面構成もよくできていると思います。開隆堂のリード文と目当ては分かりやすく、児童の学習意欲につながるものだと思います。日本文教出版は、児童の作品、制作のプロセス、活動の様子などの写真が分かりやすく構成されています。また、吹き出しの言葉が適切で、児童の学習活動へのヒントとなると思います。捉えた主題に向け表現しようとする活動の

様子が伝わり、教科書を手にした児童の意欲的な取組につながると思いました。これらの点を評価しました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

私は日本文教出版に2点入れました。児童の作品の写真が豊富で、とても美しく、躍動的に撮影されており、また、児童の写真も表情豊かで、意欲を刺激されると思われる点、5・6年生上巻の巻末のミニアートカードは、中学校の美術につながる知識で、豊かな学びとなる点、また、振り返りで感じたことを大事にしている点を評価しました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、私からも意見を申し上げます。

私は、日本文教出版1点、そして開隆堂出版に1点を入れさせていただきました。図画工作の教科書については、造形の視点を生かしながら、つくることや創造することを楽しむこと、そして、造形、芸術についての見方や感性を育むということにつながるかという観点で見させていただきました。

日本文教出版の教科書については、つくる経験、そして楽しむ姿、つくりながら遊ぶ姿を含めて描写しており、図画工作において大変重要な、つくる、創造することを楽しむということが紙面から伝わってくる工夫がされていること、また、過程やプロセスの表現が豊富であり、出来上がりだけではなく、幅広く活動を経験する、その途上において見方や感性を育む工夫がなされていること、また、気分や考え、工夫をはじめ、見方や感性を育む上での振り返りの視点に工夫がなされていること、こういったところを評価させていただきました。

また、開隆堂の教科書では、目当てに一貫性があり、シンプルで、子供たちに分かりやすい表現となっていること、それぞれの活動の中で強調する目当てがあり、子供たちが意識しやすく、見方や感性を育む上で、振り返りにもつなげやすいことを評価させていただきました。以上です。

ほかに発言漏れはございませんか。なければ、御意見はこれにて終結をいたします。

図画工作は、集計の結果、点数が9点と最も高かった日本文教出版を採択候補として選定したいと思います。いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、図画工作については日本文教出版を採択候補といたします。

それでは、次は家庭でございます。家庭については、東京書籍が8点、そして開隆堂出版が2点となりました。各委員から御意見を承ります。それでは、高木委員、お願いします。

[高木委員]

私は東京書籍に2点を入れました。その理由についてですけれども、一つには、各単元

の家庭科の窓に生活を見詰める時の見方や考え方が示されており、視点を意識して学習を進めることができること、2つ目として、ステップ1、見詰めよう、ステップ2、計画しよう・実践しよう、ステップ3、生活に生かそう・新しい課題を見つけようの3ステップの学習の進め方で問題解決型の構成になっていること、3つ目として、QRコンテンツに調理実習や製作実習の動画が収録され、ワークシートも多く用意されるなど豊富で充実していること、以上から東京書籍がよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、お願いします。

[真野委員]

私は東京書籍がよいと思い、2点入れさせていただきました。その理由を3点ほど挙げさせていただきます。

まず1点目ですが、各単元は、見詰めよう、計画しよう・実践しよう、生活に生かそう・新しい課題を見つけようの3つのステップで構成されており、自身の生活を見詰め、見つけた課題を自分らしく解決していくことにより学びを深めることができる、そういう観点です。

2点目は、各ポイントでは、デジタルコンテンツとして資料や動画が充実しており、個別最適な学びを深めていくことができる。

3点目は、物やお金の使い方など、家庭で学んだことをSDGsにつなげる内容があり、自らの行動を振り返ることができる、以上の観点で評価をさせていただきました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私は東京書籍がいいと思いました。2点入れました。教科の意義を、「家庭科はあなたの生活をよりよく変えていく教科です」と最初に掲げ、それに従い、学習の進め方は、ステップ1の見詰めようで課題を捉え、ステップ2の計画・実践で、課題解決に向け考え、実践の活動を行い、ステップ3で生活に生かそう・新しい課題を見つけようとなっており、学びのプロセスが明確に構成されています。また、児童に取り組みやすい適切な教材の提示となっていると思います。各学習では、話し合い、考えよう、調べようの活動の示しがあり、深めようでは振り返りと生活に生かすことを考えるという流れであり、主体的な学びと学び方を大切にされた構成が課題を解決する力を培うことにつながると考えました。また、各実習での図やイラスト、写真が児童にも分かりやすく表現されています。安全についても写真などで分かりやすく提示されています。振り返りの記述がページ下にあり、学びを一層深められるようになっていると思います。この教科書は、児童が考え、工夫することを大切にしているところがいいと思いました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

私は開隆堂出版に2点入れました。前回採択時とは大きく方針転換しており、紙面はA判になり、構成も変更されております。單元ごとの目当てとともに問いかけがあり、意欲を持って取り組むことができる。実習のページでは、見開きで手順と使う道具が並列で示され、見やすく、分かりやすく、ほかに方法がある場合、同じページ内に掲載されていることで、自分に合った方法を児童が即時選択できる点もよいと思いました。また、学校での実習では作業分担するであろう調理を自宅で1人で行う場合のタイムスケジュールが並列で掲載されており、ぜひ身につけてほしいスキルであると考えてるので、この点を高く評価しました。最後に、日野市在住の方が紹介されている点も目を引きました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、私からも意見を申し上げます。

私は東京書籍に2点を入れさせていただきました。家庭については、知識・技能を身につけることに加えて、日常生活の中で課題を設定・解決していく力を身につけていくことにつながっているかという観点で見させていただきました。東京書籍の教科書については、生活をよりよくしよう、生活を変えるチャンスということで、日常生活での課題解決とのつながりを明確に意識できるよう工夫がされていること、また、例えば金融の単元で、マイルールということにとどまらず、社会にまで目が向いていることや、6年生の最後の単元における提案書の活動など、日常生活をよりよいものにするために、自分が自分の生活を見直し変えていくということだけではなく、自分たちという社会的な視点での課題解決というところまで視点が向いていることについても評価をいたしました。また、学習の進め方について、スリーステップが明確に示されており、その中で、話し合おう、調べようなどの活動を位置づけるとともに、振り返り活動を重視することで、子供たちの日常生活における課題解決について、自己や他者との対話の中でつなげていくことができる工夫がされていることを評価いたしました。以上です。

ほかに発言漏れ、追加はございませんか。なければ、御意見はこれにて終結をいたします。

家庭は、集計の結果、点数が8点と最も高かった東京書籍を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、家庭については東京書籍を採択候補といたします。

それでは、次は保健でございます。保健については、G a k k e n 10点となりました。各委員から御意見を承ります。それでは、高木委員、お願いします。

[高木委員]

私はG a k k e nがよいと思います。まず、理由ですけれども、一つには、各ページに記述欄があり、思考・判断・表現したことを書くことができ、自身で考えながら進める構成になっていること、2つ目として、話し合いを通して学習する単元が多く設定されていて、協働的な学びができること、3点目として、写真やイラストが豊富で、親しみやすい工夫

がされていること、以上からG a k k e nがよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、お願いします。

[真野委員]

私はG a k k e nがよいと思います。その理由を2点ほど挙げさせていただきます。

1点目は、1つの単元が見開き4ページで構成されており、3つのステップで構成されている、そういう作りになっていて、見通しを持ち進めることができる観点です。特に導入の第1ステップでは、自分の振り返りなど、自分の身近なことから丁寧に入っており、問題解決型で、協働的な学びに結びつくという観点です。

2点目は、ワークシートが豊富で、教科書だけで完結できる、そういう点も優れている点として評価しました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私はG a k k e nがいいと思いました。児童が自分の考えを持つことができるように、学習の進め方が分かりやすく構成されているのがいいと思います。まず学習の課題を示し、今までの学びを振り返り、調べたりして、自分の考えをまとめる。そして、話し合いの活動で、様々な意見の中から学びを深め、課題解決を図る。そして、学んだことを様々な発展させ、生かすという学習活動の流れがとてもいいと思いました。導入が丁寧で、自分の考えをきちんと持たせ、課題解決の実践力が主体的な学びの活動の育成につながっていくと思います。活動の段階ごとに記述する欄が、考えや活動をまとめられるようになっており、保健の箱のところで学びを発展させたり深めたりできる点がいいと思いました。つなぐでは、他教科の学びや生活とのつながりを考えさせるようになっていきます。自分で考え、学びを進め、活用できる、解決できることを大切にしたい教科書だと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

私もG a k k e nがよいと思いました。課題解決型学習で見通しを持って取り組める点、振り返る、話し合う、学びを生かすのスリーステップで構成されており、対話活動を促している点、章の初めや随所にあるページフッター部分の**プチ**で他教科との連携を示し、教科横断的な学びへの気づきがある点、また、ワークシート型で教科書で完結できる点も評価いたしました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、私からも意見を申し上げます。

私はG a k k e nに2点を入れさせていただきました。保健については、身近な生活に

おける健康や安全について課題を捉え、解決に取り組むことにつながるかという観点で見させていただきました。G a k k e nの教科書については、学習の進め方が、予想する、話し合う、生かすなどのスリーステップで構成されており、單元ごとのシンプルで分かりやすい構成の中で、身近な健康や安全に関する課題について自分で考え、他者と対話し、振り返るといった活動が位置づけられていること、紙面の中にワークシートが豊富であり、教科の特性上、急遽授業をすることになった場合にも教員にとって使いやすいと考えられること、また、つなぐにおいて他教科との関連や仕事との関連が豊富に示されており、身近な生活や学習とのつながりを意識しながら学習に取り組める工夫がなされていること、こういったところを評価させていただきました。以上です。

ほかに発言漏れ、追加はございませんか。なければ、御意見はこれにて終結をいたします。

保健は、集計の結果、点数が10点と最も高かったG a k k e nを採択候補として選定したいと思います。いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、保健についてはG a k k e nを採択候補といたします。

それでは、次は外国語でございます。外国語については、東京書籍7点、教育出版3点となりました。各委員から御意見を承ります。それでは、高木委員、お願いします。

[高木委員]

私は教育出版に2点を入れました。その理由についてですけれども、一つには、単元の終わりに向けてスモールステップで無理なく少しずつ学べ、児童への負担感が少ないこと、2つ目として、巻末にとじられたシールや絵カード、ワークシートは楽しみながら学習ができる工夫がされていること、3点目として、映像や音声のQRコンテンツがあり、個別学習や反復学習に活用することができること、以上などから教育出版がよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、お願いします。

[真野委員]

私は東京書籍がよいと思い、2点入れさせていただきました。その理由について、3点ほど挙げさせていただきます。

1点目ですが、各ユニットの作りが、映像や音声などを通して単元の内容に慣れ親しむ、友達と会話をしたりして学習内容の定着を図る、コミュニケーションを楽しむ、世界の文化を知ろう、そして最後に学びを確かめるための振り返りを行うステップになっており、見通しを持って進めることができる。また、会話のゴールイメージも視覚的に示している点も評価したいと思います。

2点目ですが、各ステップに合わせて書き込み欄も多くあり、新たにワークシートを必要とせず、教科書1冊で完結できる。また、デジタル教科書やデジタルコンテンツも充実しており、個別最適な学びを深めていくことができるという観点です。

3点目は、別冊になっているマイピクチャーディクショナリーの語彙数も多く、使いや

すいという観点を評価いたしました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

どの教科書もそれぞれのよさがあり、教育出版と東京書籍の2つがよいと思いましたが、1つに絞り込みができませんでした。それぞれに1点入れました。

教育出版のよさとしては、導入部と学習活動の目標が分かりやすく、児童が学習の流れを把握しやすい、スモールステップで意欲的な取組につながるように構成されたところだと思います。レッスンごとの振り返りで、目標に向け自分で考えたこと、活動したことを次につなげられる活動構成がよく、自身の活動や他の考えを捉えるなどの振り返りがシクなどで適切に設定されており、楽しみながら学習に取り組める作りになっていると思います。

東京書籍のよさは、活動の目標が明確で、学習の流れを把握しやすい、次につながる学びの構成が意欲的な取組になると思います。巻末のマイピクチャーディクショナリーは、楽しみながら活用できるものだと思います。また、モデル映像などデジタルコンテンツの活用が児童のやってみようにつながり、楽しみながら学習に取り組むことを大事にした作りになっているところがいいと思いました。また、振り返りや書き込みなどの学習活動がよく構成され、個々の学習状況の把握になり、適切な指導につながると思います。

また、いずれのデジタル教科書も、作りは違いますが、一人一人の理解度ややりたいことを支えるなど、個別最適な学びにつながると思いました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

私は東京書籍がよいと思い、2点入れました。デジタル教科書として、教科書のページと同じコマ割りで進み、扱いやすいと感じました。デジタル教科書の英文ヒアリングのコンテンツでは、英語の字幕表示や画面上での対話練習ができ、個別学習に生かすことができる点、辞書冊子がついており、例えば名詞を入れ替えることで英文作成のバリエーションが広がり、関連づけた定着になる点、教科書に書き込みページが豊富に用意され、筆順、筆送りのガイドもあり、書くことを意識した作りになっている点、また、収録語数も多く、これまで耳から学んできた単語等の表記につながる点、単元の構成が一定で、見通しを待って取り組みやすい点を評価いたしました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、私からも意見を申し上げます。

私は東京書籍に2点を入れさせていただきました。外国語については、聞く、話す、読む、書くの4技能を生かし、実際のコミュニケーションに主体的に活用することにつながるか、また、その過程で、言語を学ぶことにより自分の世界を広げる楽しさや喜びを実感

するということにつながるかという視点から見させていただきました。東京書籍の教科書については、構成について、目当て、言語活動、振り返りという明確なサイクルがあり、振り返りにしっかりと幅を取ることで、自分が毎時間何を学んでいるのかを認識しながら自らの学びを調整し、学習を進めることができる工夫がされていること、また、言語を学ぶこと、コミュニケーションの幅を広げることの楽しさについて、パフォーマンス課題を含め、4技能を生かした活動を通じて実感することができるよう工夫がされていること、その中で、例えば6年生の最後の単元では、録画して自分の姿を見る活動など、デジタル環境を生かす工夫が見られること、また、ワークシートなど、専科ではない教員の立場に立った使いやすさを高める工夫がされていること、こういったところを評価させていただきました。以上です。

ほかに発言漏れ、追加はございませんか。なければ、御意見はこれにて終結いたします。

外国語については、集計の結果、点数が7点と最も高かった東京書籍を採択候補として選定したいと思います。いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、外国語については東京書籍を採択候補といたします。

次は道徳でございます。道徳については、東京書籍10点となりました。各委員から御意見を承ります。それでは、高木委員、お願いします。

[高木委員]

私は東京書籍がよいと思います。理由ですけれども、一つには、学習指導要領で示された4つの視点について、教材の4つの区分表示がされていて、学習内容が理解しやすく、定番教材も整っていること、2つ目として、教材ごとの発問は2つと数が絞られ、教材そのものに関する中心発問と教材文を基に広げる発問の2つが設定されており、考え、論議する学習につながること、3点目、全学年に心の力持ちになろうと5つのユニット、具体的には、安心・安全、いじめ、情報モラル、命の大切さ、自己肯定感の5つのユニットが設けられ、全体としてよい構成の教科書であること、以上から東京書籍がよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、お願いします。

[真野委員]

私は東京書籍がよいと思います。その理由を3点ほど挙げさせていただきます。

1点目は、学びのステップが、気づく、考える、広げる・深めるの3つのステップであり、そのための中心の発問はシンプルで、子供たちの心に問いかけ、一緒に考え始める、そういうきっかけになるのではないかと。また、その中心発問と同じ場所に描かれているキャラクター、このキャラクターのつぶやきも子供たちに届きやすい言葉になっている、そのような観点を評価しました。

2点目は、学びを広げるため、朗読やスライドショーなどデジタルコンテンツが充実している観点です。

3点目は、つながる・広がるのページでは、各単元で学んだ内容をSDGsと関連づけ

たり、他の教科とのつながりなど、結びつけている点も評価させていただきました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私も東京書籍がよいと思いました。各教材が丁寧に、発達段階に応じた、児童の感性に響くような教材配列と各教材の文章表現が工夫されていると思いました。また、学び方の作りがよいと思いました。基本的に、まず教材をきちんと読み、感じ取り、受け止めたところで、中心発問と自己に向けた発問があり、そこにキャラクターの適切なアドバイスがあります。児童が考えをしっかりと持つところに向け、流れが丁寧に構成されていると思います。巻頭には道徳の学びについてのページがあり、気づく、考える、広げる・深めるの学び方が児童にも分かりやすく示してあることと、演じて感じ取る学び方も示してあり、よいと思いました。全体を通して、教材をじっくりと考えることができると自己を見つめることを大切にしたりしているところがよいと思いました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

私も東京書籍に2点入れました。発問が2問に絞られていることで、それぞれの問いについて様々な考えを聞き、対話を広げることができる点、役割演技活動が設けられており、より実感を伴った学びにつながる点、また、心のメーターを使い、話し合い活動の前後で自分の気持ちの変化を振り返ることができる点、そして、今回、題材をあえて結末まで表記しないという工夫がされており、登場人物の心情をより深く考えることができる点を高く評価いたしました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、私からも意見を申し上げます。

私は東京書籍に2点を入れさせていただきました。道徳については、物事を多面的・多角的に考える中で、自己を見詰め、生き方についての考えを深めることにつながっているかという観点から見させていただきました。東京書籍の教科書については、その教科書の構成について、道徳の時間の中で何について学ぶのかについて、自分、人との関わり、社会、命・自然の4つにシンプルに整理をした上で、まず教材となる文章と向き合い、そして、練り上げられ、厳選された問いと向き合い、気づく、考え対話する、振り返る、深めるという活動が位置づけられています。教材と向き合う中で、子供たち自身が考えを多面的・多角的に検討し、深められるよう工夫がなされていることを評価いたしました。また、つながる・広がるを密度高く入れ込んであり、5つのユニットの位置づけを含め、他教科との関連、自分自身の生活や社会生活とのつながりを意識しながら学べるよう工夫がなされていることについても評価をさせていただきました。以上です。

ほかに発言漏れ、追加はございませんか。なければ、御意見はこれにて終結をいたしま

す。

道徳は、集計の結果、点数が10点と最も高かった東京書籍を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、道徳については東京書籍を採択候補といたします。

以上で、各教科の採択候補が決定しました。事務局から補足の説明などはありますか。
教育部参事。

[長崎教育部参事]

教育部参事でございます。

ただいまの協議で、来年度使用する教科書の採択候補が決定いたしました。来年度使用する教科書は、新たに採択した発行者の新版教科書を使用することが原則となっておりますが、これには例外がございます。東京都教育庁指導部管理課から令和5年6月に出されている令和6年度使用教科書採択の手引に留意事項の記載がございます。記載されている留意事項を読ませていただきます。

学習指導要領において複数学年の指導内容が一体となっている教科であって、教科書が学年別に発行されているもの、国語、書写、音楽、英語、道徳は、第1学年と第2学年、第3学年と第4学年、第5学年と第6学年の内容がそれぞれ一体のものとなっている。このため、採択替えにより今年度と異なる発行者の教科書を使用することとなった場合、第1・第3・第5学年については採択変更後の発行者の新版教科書を使用し、第2・第4・第6学年については採択変更前の発行者の新版教科書を使用することと記載がございます。先ほどの協議の中で、外国語につきましては東京書籍が候補となりました。したがって、来年度の第6学年におきましては現在使用している教育出版の新版教科書を使用し、第5学年におきましては候補となっている東京書籍の新版教科書を使用することとなります。

以上でございます。

[堀川教育長]

事務局からの説明が終了しました。

以上で、協議事項第3号 日野市立小学校教科用図書の選定についてを終了いたします。事務局は協議事項の内容を踏まえて議案書を差し替えてください。

ここで議事の都合上、休憩を取ります。16時10分から再開いたします。

休憩 15時57分

開始 16時10分

[堀川教育長]

再開します。

議案第12号 日野市立小学校教科用図書の採択についてを議題といたします。事務局より提案理由の説明をお願いします。教育部参事。

○議案第12号 日野市立小学校教科用図書の採択について

[長崎教育部参事]

教育部参事でございます。

それでは、先ほどお配りしました議案を御覧ください。議案第12号 日野市立小学校教科用図書の採択について説明いたします。

提案理由でございます。先ほど協議いただきました結果を踏まえて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第1項及び第14条、同法施行令第14条第1項及び第15条の規定に基づき、令和6年度に日野市立小学校で使用する教科用図書を採択するものでございます。

裏面を御覧ください。小学校教科用図書の種目及び令和6年度使用教科用図書発行者を読み上げさせていただきます。

国語、光村図書出版株式会社、書写、光村図書出版株式会社、社会、教育出版株式会社、地図、株式会社帝国書院、算数、東京書籍株式会社、理科、大日本図書株式会社、生活、東京書籍株式会社、音楽、株式会社教育芸術社、図画工作、日本文教出版株式会社、家庭、東京書籍株式会社、保健、株式会社Gakken、外国語、東京書籍株式会社、道徳、東京書籍株式会社。

以上でございます。御審議のほど、よろしく願いいたします。

[堀川教育長]

事務局からの説明が終了しました。この件については先ほど協議をいたしましたが、さらに御質問、御意見がございましたらお願いします。高木委員。

[高木委員]

私のほうから、採択そのものの内容に関してではないんですが、子供たちの目の健康に関しまして、1点要望させていただきたいと思います。

今回の小学校の教科書改訂を見ますと、全ての種目においてQRコンテンツやデジタルコンテンツの数量の拡大や充実が図られています。このことは、多くの児童にとって、大幅な学習環境の改善につながるものと考えております。しかしながら、一方で、一部の子供たちにとっては、ディスプレイを見詰める時間が長くなる可能性を秘めているのではないかと思います。学習以外のゲーム機などの使用状況も鑑みますと、子供たちの目の健康をどのように守っていくかが大きな課題になっていくのではないかなという懸念、心配を持っております。ついては、子供たちの目の健康管理についての目安やガイドラインについて、広く関係者や専門家の協力を得ながら論議、検討していくことを要望いたします。よろしく願いいたします。

以上です。

[堀川教育長]

ほかに御質問、御意見はございませんか。なければ、御意見、御質問はこれにて終結をいたします。

お諮りします。議案第12号 日野市立小学校教科用図書の採択についてを原案のとおり決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしと認めます。議案第12号は原案のとおり可決されました。

図書の移動をいたします。しばらくお待ちください。

(図書の入替え)

[堀川教育長]

再開します。

議案第13号 日野市立中学校教科用図書の採択についてを議題といたします。事務局より提案理由の説明をお願いします。教育部参事。

○議案第13号 日野市立中学校教科用図書の採択について

[長崎教育部参事]

教育部参事でございます。

議案第13号 日野市立中学校教科用図書の採択について御説明申し上げます。議案書3ページをお開きください。

提案理由でございます。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第1項及び第14条、同法施行令第14条第1項及び第15条第1項の規定に基づき、令和6年度に日野市立中学校で使用する教科用図書を採択するものでございます。

次のページをお開きください。ここに記載する教科用図書について採択するものでございます。中学校におきましては、学習指導要領の下で編集・発行された教科用図書を令和2年度に採択しております。今回の提案は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条に、義務教育諸学校において使用する教科用図書については、政令に定めるところにより、政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択するものとするため、このような形で提案するものでございます。

なお、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第14条には、種目ごとに同一の教科用図書を採択する期間は4年と規定されております。

説明は以上でございます。御審議のほど、よろしく願いいたします。

[堀川教育長]

事務局からの説明が終了いたしました。御質問がございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。なければ、ご意見を伺います。よろしいでしょうか。

なければ、御質問、御意見はこれにて終結をいたします。

お諮りします。日野市立中学校教科用図書の採択についてを原案のとおり決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしと認めます。議案第13号は原案のとおり可決されました。

図書の移動をいたします。しばらくお待ちください。

(図書の入替え)

[堀川教育長]

議案第14号 日野市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について、事務局より提案理由の説明をお願いします。教育部参事。

○議案第14号 日野市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について

[長崎教育部参事]

教育部参事でございます。

議案第14号 日野市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について御説明申し上げます。議案書5ページをお開きください。

提案理由でございます。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第1項及び第14条、同法施行令第14条第1項及び第15条第1項、学校教育法附則第9条の規定に基づき、令和6年度に特別支援学級の児童生徒が使用する教科用図書を採択するものでございます。

ただいま提案理由で申し上げましたとおり、特別支援学級教科用図書の採択につきましては、小・中学校の特別支援学級で特別の教育課程を編成している場合、学校教育法附則第9条、同法施行規則第139条の規定により、教科により当該学年用の文部科学省検定教科用図書を使用することが適当でないときは、当該学校の設置者の定めるところにより、他の適切な教科用図書を使用することができるとされております。

今回の特別支援学級教科用図書の採択につきましては、文部科学省検定教科書、文部科学省著作教科書及び学校教育法附則第9条に規定する一般図書から採択することになります。各学校が文部科学省検定教科書を選定している場合については、特別支援学級でも、通常の学級で使用する教科用図書と同様の教科用図書を使用することになります。小学校につきましては、先ほど採択された教科用図書を特別支援学級でも使用いたします。各学校から提出された調査研究報告書に記載されている検定本については、令和5年度に使用している名称となっているものもでございますが、令和6年度に通常の学級で使用する教科用図書と同一のものを使用します。中学校につきましては、令和2年度に採択され、令和6年度まで使用する教科用図書を特別支援学級で使用することになります。

42ページを御覧ください。特別支援学級教科用図書採択資料、調査研究の趣旨、枠組みの中になります。

(1)、特別支援学級における教科用図書の調査研究についてを御覧ください。今年度は、令和5年6月12日付の文書にて、各学校に特別支援学級教科用図書の調査研究を依頼いたしました。各学校において教科用図書について調査研究を行い、特別支援学級設置校から6月29日までに教育委員会事務局に報告をいただいたところでございます。

(2)、調査研究の基本的な考え方を御覧ください。次の3点が基本的な考え方でございます。①、児童・生徒の障害の種類、程度、能力、特性に最もふさわしい内容の図書であること。②、可能な限り、系統的に編集されており、教科の目標に沿う内容を持つ図書であること。③、学年進行に当たって、上の学年で使用する事となる教科書との関連性を考慮することを踏まえて各学校では調査研究をしました。

各学校の調査研究結果を一覧に整理したものが枠囲みの下にございます。各学校の調査研究一覧にも示しております。令和6年度については、各学校とも学年ごとに教科用図書を選択しております。2行目の日野第三小学校の欄を御覧ください。各年とも学年を単位として選定しており、音楽、図画工作については文部科学省検定教科書、国語、書写、算数、社会、理科、生活、家庭、保健、英語、道徳の教科においては一般図書を選定しております。

6ページから41ページまでは、各学校で調査研究を行い、報告された資料でございます。各ページの右上のところに、図書名の前に記された「検」、「文」、「市」という表記でございますけれども、「検」は文部科学省検定教科書、「文」は文部科学省著作教科書、「市」は学校教育法附則第9条で規定された一般図書を表しております。また、横軸にございます調査研究資料番号について記載のあるものについては、東京都教育委員会が調査研究を行った図書から選定しております。空欄のものについては、学校が独自に調査研究を行い、選定しております。

特別支援学級の教科用図書の選定、選択といたしましては、学校教育法附則第9条に規定する一般図書から87冊、特別支援学校の小学部及び中学部で使用する文部科学省著作教科書から2冊、文部科学省検定教科書から76冊を選定しており、それぞれの障害種別、程度等、個々の状況に応じて各学校から選定した報告がありました。

以上で、特別支援学級教科用図書の調査研究の経過並びに採択に関わる説明を終わります。御審議のほど、よろしく願いいたします。

[堀川教育長]

事務局からの説明が終了いたしました。御質問がございましたらお願いをいたします。よろしいでしょうか。なければ、御意見を伺います。

なければ、御質問、御意見はこれにて終結いたします。

お諮りします。日野市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択についてを原案のとおり決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしと認めます。議案第14号は原案のとおり可決されました。

ここで議事の都合上、休憩を取ります。16時30分から再開をいたします。

休憩 16時25分

開始 16時30分

[堀川教育長]

再開します。

議案第15号 教育委員会職員人事の専決処分について、事務局より提案理由の説明をお願いします。庶務課長。

○議案第15号 教育委員会職員人事の専決処分について

[釜塚庶務課長]

庶務課長でございます。

議案書45ページを御覧ください。議案第15号 教育委員会職員人事の専決処分について御説明いたします。

提案理由でございます。教育委員会職員に対する人事異動に伴う人事発令について、教育委員会に諮る時間的余裕がありませんでした。そのため教育長専決により人事発令を行いましたので、報告し承認を求めるものです。

次ページを御覧ください。令和5年8月1日付の発令でございます。対象者は2名でございます。職層名、職務名、氏名等につきましては、記載のとおりでございます。

説明は以上でございます。よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

[堀川教育長]

事務局からの説明が終了いたしました。御質問、御意見がございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

なければ、御質問、御意見はこれにて終結をいたします。

お諮りします。教育委員会職員人事の専決処分についてを原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしと認めます。議案第15号は原案のとおり承認されました。

報告事項第12号 行政情報の公開請求について、事務局より報告をお願いします。庶務課長。

○報告事項第12号 行政情報の公開請求について

[釜堀庶務課長]

庶務課長でございます。

議案書58ページを御覧ください。報告事項第12号 行政情報の公開請求について報告をさせていただきます。

次ページをお開き願います。請求日、決定日、請求件名、決定内容は、記載のとおりでございます。

報告は以上でございます。

[堀川教育長]

事務局からの報告が終了しました。御質問、御意見がございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

なければ、報告事項第12号を終了いたします。

これより議案第16号及び第17号の審議に入りますが、本件につきましては、公開しない会議といたしますので、傍聴者の方は退席してください。

なお、本件の終了をもって、令和5年度第5回教育委員会定例会を閉会といたします。

(関係者以外退室)

「教職員の内申の専決処分について」

「教育管理職の異動（内申）の専決処分について」

は公開しない会議の中で審議

[堀川教育長]

以上をもちまして、本日の案件は全て終了いたしました。

これにて令和5年度第5回教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会16時37分

